放デイ　事業所における自己評価結果（公表）

討議年月日：令和　8　年　10　月　23　日

公表：令和8年　10　月　28　日　　事業所名　　ブロッサムジュニア大府柊山教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	10	0	利用定員に対して、十分なスペースを確保している。	
	2	職員の配置数は適切である	10	0	指定基準に適合している。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	9	1	室内は段差がなく、バリアフリー化されている。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	10	0	毎日の朝礼・終礼や定期的なミーティングで、支援・業務改善につて話し合いを行っている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	10	0		昨年のアンケートを踏まえ、利用者のお子さんの成長にあわせた机と椅子を購入した。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	10	0		（ブロッサム）本部のホームページにて公開します。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	7	第三者機関ではないが、フランチャイズ本部による評価は受けている。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	10	0	毎月の研修や外部研修を行い、資質の向上に努めている。	前回に比べ外部研修に参加する機会を増やした。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	10	0		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	10	0		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	10	0		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10	0	これまでの療育内容やできたことを確認しながら、支援を行っている。	色んなことを体験できるような活動を取り入れていきたいとおもいます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	10	0	休日日課では、外出や普段できない活動を取り入れている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	10	0	毎日のプログラムで個別と集団を取り入れるように計画している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	10	0	支援開始前に打ち合わせを行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	10	0	終礼で打ち合わせを行っている。その他情報共有システムを通じて行っている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10	0	情報共有システムを使用し、記録の徹底を図っている。必要に応じて話し合いを行っている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	10	0	半年ごとに行っている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	10	0		
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	10	0	児童発達支援管理責任者が参加している。	

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	10	0	主に送迎時に学校の先生と情報交換を行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	8		対象者がいません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	6	保護者を通じて行っている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	5		まだ該当する児童がいません。今後必要な場合については、情報提供を行います。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	10	0		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5	5		
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	7	3	参加する機会がなかった。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	2	利用毎に、児童引き渡し時に口頭で行ったり、情報共有システムを通じて、通所時の活動内容を文章や写真で保護者に伝達している。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント･トレーニング等の支援を行っている	8	2		プログラムとしてのペアレント･トレーニングは実施していないが、情報共有を通じて家族支援を行っている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10	0	契約時に行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10	0	随時行っている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	7		ご要望に応じて検討していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	9	1		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	10	0	SNSを通じて、活動内容を発信している。	
	35	個人情報に十分注意している	10	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10	0		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	7	3	見学者を積極的に受け入れている。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	10	0		災害時対応については文書を保護者に配布した。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10	0	毎月、集団活動の一環として行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10	0	年間の研修プログラムに組み込んでいる。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	10	0		研修や事例検討は行っております。

	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	10	0	保護者を通じて対応してる。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10	0	報告書を作成し、毎月の会議で確認している。	